

1.2GHz帯特定ラジオマイクの技術的条件の考え方

◎他システムとの共用関係

- ◆ 1.2GHz帯においては公共的な無線標定業務（レーダー）が使用しており、潜在電界の調査結果を踏まえれば、ラジオマイクは当該システムからの被干渉を回避して運用することが必要
- ◆ 従って、特段、混信保護値等の共用条件を定めず、ラジオマイク側で干渉が無いチャンネルを選択するなどの運用面において共用を図ることが適当
- ◆ 特定小電力無線に対しては、当該周波数をラジオマイクでは使用しないこととする

◎技術的条件の考え方

◆ 空中線電力

現行周波数帯の800MHz帯と比較した電波伝搬試験結果から、空中線電力はアナログ方式及びデジタル方式共に50mWとすることが適当

◆ 空中線

ユーザ、メーカーからの要望で、空中線の交換が可能となるように緩和